

大学等への修学支援の措置に係る学修計画書【例】

提出日：2026 年 4 月 3 日

氏名	昭和 花子				
学籍 番号	27226900	学部 学科	総合情報学部 デジタルイノベーション学科	学年	1

1. 学修の目的（300 文字以上）

現在在籍中の課程での学修の目的はどのようなものですか。以下を参考に記述してください。

- ・将来に就きたい職業（業種）があり、実現に向けて知識の修得や資格を取得するため。
- ・興味のある学問分野や実践的領域があり、それらに関する知識を習得し、理解を深めるため。
- ・将来、社会人として自立するための基礎的な能力を身に付けるため。

私は将来、システムエンジニアになりたいと考えており、総合情報学部に入學した。総合情報学部では、データを分析するデータサイエンスや、分析結果をサービスとして形にするデジタル技術を学ぶことができるため、情報であふれかえっている現代に必要なニーズを的確にとらえたアプリ開発の技術力が習得できると考えている。また在学中には、それらの学びを活かして、現在取得済みの「IT パスポート」の上位資格である「基本情報技術者試験」の合格を目指す。この資格取得への挑戦を通じて、専門的な知識をより体系的に理解し、自身の技術力を客観的に証明したいと考えている。大学での最先端の学びと資格試験への挑戦を通じて、技術力だけでなく、論理的思考力や目標を達成する自己管理能力といった、将来社会人として自立するために不可欠な基礎能力を身に付けることが、私の学修の目的である。

2. 学修の計画（300 文字以上）

前述の実現のために、これまで何をどのように学び、また今後何をどのように学びたいと考えているかを記述してください。

高校時代からシステムエンジニアを目指し、自発的な学習に取り組んできた。具体的には、IT の基礎知識を体系的に身に付けるため、独学で「IT パスポート」の試験勉強に励み、無事に合格することができた。また、知識だけでなく実践的な感覚を養うため、学習アプリを活用し、通学中などの隙間時間にゲーム感覚でプログラミングの基礎に触れてきた。今後は大学での高度な専門実践へ移行するにあたり、まずは高校時代に苦手意識のあった数学の克服から着手する。低年次から必修科目である数学基礎をしっかりと固め、学びにスムーズに適応できる基盤を作りたい。その上で、総合情報学部の専門カリキュラムを通じて現代のニーズに応えるアプリ開発の技術を学び、在学中に「基本情報技術者試験」の合格を見据え、システムエンジニアとして必要なスキルを着実に習得していきたい。

3. 学修継続の意志（150 文字以上）

あなたは卒業まで学びを継続し、全うする意志を持っていますか。卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志がある場合は、どのような姿勢で学びに取り組もうと考えているかを記述してください。

私は大学での学びを継続し、全うする強い意志を持っている。高校時代に培った「目標に向けて計画的に努力する力」や「隙間時間を活用して学びを継続する習慣」をもとに、システムエンジニアという夢をかなえるため、日々の授業に実直に取り組む。また、日々進化する DX の最先端技術を能動的に学び習得し、確かな実力を身に付けて卒業を迎えられるよう精一杯努力したい。